

研究成果報告会を開催しました!

行動経済学(ナッジ理論)の活用研究会

指導助言者

ポリシーナッジデザイン合同会社 代表
大阪大学社会経済研究所行動経済学研究センター 非常勤特任准教授

植竹 香織氏

令和8年3月13日(金)にマッセOSAKA大ホールにて研究成果報告会を開催いたしました。報告会は3部構成で行い、第1部は、CoBe-Tech株式会社取締役CKOで大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授の大竹文雄先生にご講演いただきました。第2部では、研究員より成果報告、第3部は、大竹先生と研究員3名をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。成果報告会の様子は、マッセOSAKAホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



成果報告会終了後 集合写真 上段(研究員・事務局) 下段左より研究員3名、植竹先生(指導助言者)、大竹先生(基調講演者)、研究員3名

指導助言者		
指導助言者	ポリシーナッジデザイン合同会社 代表 大阪大学社会経済研究所行動経済学研究センター 非常勤特任准教授	植竹 香織
市町村名等	所属(研究員13名)	氏名
茨木市	企画財政部 デジタル戦略課	中橋 晃季
茨木市	産業環境部 商工労政課	生田慎太郎
吹田市	環境部 環境保全指導課	笹 俊克
豊中市	健康医療部 保険相談課	島 研
豊中市	都市基盤部 基盤管理課	梶川 友美
豊中市	消防局 予防課	田部 康二
河内長野市	成長戦略局 成長戦略部 まちのソフト戦略室 文化・スポーツ活性化課	玉置 悠華
河内長野市	こどもの未来とウェルビーイング推進局 こども子育て部 こどもファミリーセンター	高橋真由美
富田林市	総務部 収納管理課	八田 知樹
八尾市	健康福祉部 障害福祉課	山口 雅代
八尾市	教育委員会事務局 安中青少年会館	生野 勝也
岸和田市	財務部 財政課	中野 真衣
岸和田市	教育総務部 学校適正配置推進課	勝元 伸弥
事務局		
マッセOSAKA	八尾市から派遣	眞田 彩寧
マッセOSAKA	高槻市から派遣	古田 将

地方自治体における専門人材(土木・建築)の確保・育成のあり方研究会

指導助言者

東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授

松井 望氏

令和8年3月9日(月)にマッセOSAKA大ホールにて研究成果報告会を開催いたしました。報告会は3部構成で行い、第1部は、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授出雲明子先生にご講演いただきました。第2部では、研究員より成果報告、第3部は、指導助言者の松井先生がコーディネーター、出雲先生と研究員3名をパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。成果報告会の様子は、マッセOSAKAホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



成果報告会終了後 集合写真 上段(事務局・オブザーバー・研究員・事務局) 下段左より研究員、松井先生(指導助言者)、出雲先生(基調講演者)、研究員

指導助言者		
指導助言者	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授	松井 望
市町村名等	所属(研究員3名)	氏名
高槻市	総務部 人事企画室	石井 清貴
東大阪市	建築部 住宅政策室 総務管理課	大原 弘愛
高石市	総合政策部 人事課	津田 彩花
オブザーバー		
池田市	人材育成推進参与(人事課)	上浦 善信
事務局		
マッセOSAKA	高石市から派遣	濱田 健太
マッセOSAKA	豊中市から派遣	山田 春花

成果報告会では、報告しきれなかった内容を含め、各研究会の成果を報告書にまとめています。ホームページに掲載するとともに、マッセOSAKAでも配架いたしますので、研修などでお越しの際にはぜひ手にお取りください!!



マッセOSAKAの事務局の紹介



おおさか市町村職員研修研究センター所長の林です。

令和8年度のマッセスタッフ一同です。

今年度も、市町村のためになる研修研究事業を

実施してまいりますので、

多くのご参加をお待ちしております。

写真上段（左より曾我部長、古田主事、立石主査）
下段（左より青山主事、口元主事、林所長、水口主事）

令和8年度 研究事業の紹介

研究事業では、市町村独自の政策形成の推進を目指し、広域的あるいは将来的な課題についての調査・研究を進め、新たな行政課題や政策についての提言、情報の蓄積や受発信を行います。

研究会

本年度は、次の研究会を実施します。詳細については、次号でご紹介いたします。

- ・生活保護業務のあり方とDXの現状に関する研究会

地方自治ゼミナール

大学等と連携して、より専門性の高い調査・研究を行います。

- ・大阪学院大学大学院経済学研究科との連携

行政に携わっている人を対象として、公共政策に関する特定テーマを設定し、範囲を限定したより高度な研究を行います。

- ・和歌山大学大学院経済学研究科との連携

公共政策に関する特定テーマについて研究・検討を行うことにより、実践的能力の向上を図ります。

- ・関西大学大学院経済学研究科との連携

公共政策に関するテーマについて、公開ゼミナールを行います。

研究紀要

市町村行政における喫緊課題を取り上げ、研究者による「政策提言論文集」として発行します。また、府内市町村職員から公募した論文の中から最優秀論文を掲載します。



マッセOSAKA公募論文・エッセイ募集!

自治体や行政に関する内容であれば、福祉、教育、環境、行財政などテーマは自由です。ふるってご応募ください。



応募締切：令和8年9月25日(金)必着

令和8年度 研修事業の紹介

生成AI×業務効率化研修

- 日程 令和8年7月31日(金)
- 講師 アンドドット株式会社 小森 一輝 氏

生成AIを適切に活用することで、業務の生産性向上と時間短縮を図ります。また、生成AIの基本的な仕組みと活用方法を理解し、自治体業務に適したプロンプトを設計するスキルの習得について学びます。

申込締切日：6月22日

地域公共交通研修～公民連携による実践的対応～

- 日程 令和8年10月30日(金)
- 講師 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤 博和 氏

地域公共交通の必要性、および確保・維持・改善にかかる課題を理解し、潜在ニーズを把握する方法や、地域を支える公共交通を再構築するための制度・法令・財源等を学び、公共交通事業者や地域住民等との協働による実効性ある施策を立案・実行する力の習得を図ります。

申込締切日：9月24日

令和8年度 研修一覧

(申込締切順)

各研修の定員については変更が生じる場合があります。

研修コース名	始 期		終 期		申込締切日		日数	定員
CAD研修(基礎①)	R8.5.27	(水)	R8.5.28	(木)	R8.4.27	(月)	2	28
法制執務研修	R8.5.26	(火)	R8.5.27	(水)	R8.4.27	(月)	2	40
法律研修(地方自治法)	R8.5.28	(木)	R8.5.29	(金)	R8.4.28	(火)	2	56
CAD研修(基礎②)	R8.6.1	(月)	R8.6.2	(火)	R8.5.7	(木)	2	28
法律研修(民法)	R8.6.2	(火)	R8.6.3	(水)	R8.5.7	(木)	2	40
工事監理・検査の進め方研修	R8.6.5	(金)	R8.6.5	(金)	R8.5.7	(木)	1	40
契約事務基本研修	R8.6.8	(月)	R8.6.9	(火)	R8.5.11	(月)	2	48
CAD研修(応用)	R8.6.10	(水)	R8.6.11	(木)	R8.5.11	(月)	2	28
採用面接官指導者養成研修	R8.6.10	(水)	R8.6.11	(木)	R8.5.11	(月)	2	36
事例から学ぶ災害対応研修～全職員が日頃から危機管理意識を持つことが有事の際に役立つ～	R8.6.12	(金)	R8.6.12	(金)	R8.5.13	(水)	1	36
エクセル応用研修①	R8.6.22	(月)	R8.6.23	(火)	R8.5.13	(水)	2	28
【府スマートシティ戦略部共催事業】業務所管課新任担当者向け標準化入門研修	R8.5.29	(金)	R8.5.29	(金)	R8.5.13	(水)	1	
固定資産税課税事務研修(総則)	R8.6.16	(火)	R8.6.16	(火)	R8.5.18	(月)	1	30
ファシリテーション入門研修～参加したくなる会議のつくり方～	R8.7.1	(水)	R8.7.1	(水)	R8.5.22	(金)	1	36
法律研修(行政法)	R8.6.22	(月)	R8.6.23	(火)	R8.5.25	(月)	2	48
ナッジ理論を活用した資料作成研修	R8.6.24	(水)	R8.6.24	(水)	R8.5.25	(月)	1	48
住民税課税事務基本研修	R8.7.2	(木)	R8.7.3	(金)	R8.5.25	(月)	2	40
エクセル応用研修②	R8.7.2	(木)	R8.7.3	(金)	R8.5.25	(月)	2	28
シティプロモーション実践研修～住民理解から関係人口獲得までの戦略的な情報発信とは～	R8.6.25	(木)	R8.6.26	(金)	R8.5.26	(火)	2	25
固定資産税課税事務(土地)基本研修	R8.7.7	(火)	R8.7.8	(水)	R8.5.28	(木)	2	40
法律研修(地方公務員法)	R8.6.29	(月)	R8.6.30	(火)	R8.6.1	(月)	2	56
ムダなく仕事をするためのタイムマネジメント研修①	R8.7.10	(金)	R8.7.10	(金)	R8.6.1	(月)	0.5	30
ムダなく仕事をするためのタイムマネジメント研修②	R8.7.10	(金)	R8.7.10	(金)	R8.6.1	(月)	0.5	30
エクセル応用研修③	R8.7.9	(木)	R8.7.10	(金)	R8.6.1	(月)	2	28
議会答弁対応力向上研修	R8.7.14	(火)	R8.7.14	(火)	R8.6.4	(木)	1	36
ワード応用研修①	R8.7.14	(火)	R8.7.14	(火)	R8.6.4	(木)	1	28
交渉力アップ研修	R8.7.15	(水)	R8.7.15	(水)	R8.6.5	(金)	1	40
エクセル応用研修④	R8.7.16	(木)	R8.7.17	(金)	R8.6.8	(月)	2	28
固定資産税課税事務(家屋)基本研修	R8.7.22	(水)	R8.7.23	(木)	R8.6.12	(金)	2	40
エクセル実務研修(マクロ/VBA①)	R8.7.22	(水)	R8.7.23	(木)	R8.6.12	(金)	2	28
パワーポイント研修	R8.7.27	(月)	R8.7.27	(月)	R8.6.17	(水)	1	28
エクセル実務研修(関数・集計①)	R8.7.28	(火)	R8.7.29	(水)	R8.6.18	(木)	2	28
政策法務研修	R8.7.29	(水)	R8.7.30	(木)	R8.6.19	(金)	2	20
生成AI×業務効率化研修	R8.7.31	(金)	R8.7.31	(金)	R8.6.22	(月)	1	36
エクセル応用研修⑤	R8.7.30	(木)	R8.7.31	(金)	R8.6.22	(月)	2	28
アクセス基礎研修①	R8.8.3	(月)	R8.8.4	(火)	R8.6.24	(水)	2	28
基礎から学ぶ行政経営と公会計入門研修	R8.8.4	(火)	R8.8.4	(火)	R8.6.25	(木)	1	30
エクセル応用研修⑥	R8.8.6	(木)	R8.8.7	(金)	R8.6.29	(月)	2	28
統計的思考を用いた地域情報分析研修	R8.8.18	(火)	R8.8.19	(水)	R8.7.9	(木)	2	20
エクセル応用研修⑦	R8.8.18	(火)	R8.8.19	(水)	R8.7.9	(木)	2	28
エクセル実務研修(マクロ/VBA②)	R8.8.20	(木)	R8.8.21	(金)	R8.7.13	(月)	2	28
ワード応用研修②	R8.8.24	(月)	R8.8.24	(月)	R8.7.15	(水)	1	28
ハラスメント防止研修～誰もが動きやすい職場づくり～	R8.8.25	(火)	R8.8.25	(火)	R8.7.16	(木)	1	40
これからの時代における自治体経営と職員像～行政学の視点から～	R8.8.26	(水)	R8.8.26	(水)	R8.7.17	(金)	1	40
エクセル実務研修(関数・集計②)	R8.8.26	(水)	R8.8.27	(木)	R8.7.17	(金)	2	28
自治体の財政研修～住民との共有を目指した自治体財政の理解の深め方～	R8.8.27	(木)	R8.8.27	(木)	R8.7.21	(火)	1	25
リスクマネジメント研修～組織で取り組むための具体策～	R8.8.31	(月)	R8.8.31	(月)	R8.7.22	(水)	1	30
プレゼンテーション研修～口頭・書面でわかりやすく伝えるために～	R8.9.1	(火)	R8.9.1	(火)	R8.7.23	(木)	1	32
アクセス基礎研修②	R8.9.1	(火)	R8.9.2	(水)	R8.7.23	(木)	2	28
住民満足度(CS)向上研修	R8.9.3	(木)	R8.9.4	(金)	R8.7.27	(月)	2	36
エクセル実務研修(マクロ/VBA③)	R8.9.3	(木)	R8.9.4	(金)	R8.7.27	(月)	2	28
問題解決思考養成研修～3つの思考法を学び、実践する～	R8.9.8	(火)	R8.9.8	(火)	R8.7.30	(木)	1	48
多様性が進む中でのコミュニケーション法～実感!ダイバーシティ&インクルージョン～	R8.9.9	(水)	R8.9.9	(水)	R8.7.31	(金)	1	36
アクセス応用研修	R8.9.9	(水)	R8.9.10	(木)	R8.7.31	(金)	2	28
住民に伝わる広報・文書・チラシのデザイン術研修～情報発信とAIを活用して～	R8.9.11	(金)	R8.9.11	(金)	R8.8.3	(月)	1	48
滞納処分できない自治体債権滞納整理研修	R8.10.1	(木)	R8.10.2	(金)	R8.8.24	(月)	2	32
フォローアップ研修～主体的にリーダー・メンバーを補佐し、組織への貢献力を高める～	R8.10.7	(水)	R8.10.7	(水)	R8.8.28	(金)	1	40
女性職員のためのキャリアデザイン研修	R8.10.8	(木)	R8.10.8	(木)	R8.8.31	(月)	1	36
これからの人材マネジメント・育成のあり方研修	R8.10.9	(金)	R8.10.9	(金)	R8.8.31	(月)	1	36
基礎から学ぶ地方自治制度研修	R8.10.15	(木)	R8.10.15	(木)	R8.9.7	(月)	1	36
公務員倫理研修	R8.10.20	(火)	R8.10.20	(火)	R8.9.10	(木)	1	40
自治体DX推進研修～課題発見から業務改革へ～	R8.10.23	(金)	R8.10.23	(金)	R8.9.14	(月)	1	40
チームビルディング研修	R8.10.22	(木)	R8.10.22	(木)	R8.9.14	(月)	1	40
論理的思考力・説得力を鍛える、ディベート実践研修	R8.10.28	(水)	R8.10.29	(木)	R8.9.18	(金)	2	24
地域公共交通研修～公民連携による実践的対応～	R8.10.30	(金)	R8.10.30	(金)	R8.9.24	(木)	1	32
不当要求等(カスハラ)対応研修	R8.11.6	(金)	R8.11.6	(金)	R8.9.28	(月)	1	30
マニュアル作成研修～アウトソーシングを見据えた第一歩～	R8.11.5	(木)	R8.11.5	(木)	R8.9.28	(月)	1	48
市民と行政の協働研修～人口減少時代の地域づくりから考える～	R8.11.10	(火)	R8.11.10	(火)	R8.10.1	(木)	1	40
【府都市整備部共催事業】構造物設計・調査の基礎知識と計算演習								
【府都市整備部共催事業】建築基準関係法令研修①②								
【府スマートシティ戦略部共催事業】令和8年度情報セキュリティ技術セミナー								

開催日等は、詳細が決まり次第、別途通知します。

サマージャンボ宝くじ・ハロウィンジャンボ宝くじ ～市町村のまちづくりに役立っています～

帰任職員紹介

令和7年度末をもって派遣期間を終え、派遣元へ帰任した職員を紹介します。



さなだ あやね
真田 彩寧 (八尾市へ帰任)

令和6年度からの2年間、みなさまには大変お世話になり、ありがとうございました。

マッセOSAKAでの2年間は、研修研究事業に関するもののほか、全国のみなさまとの交流やさまざまな研修会議への参加など、とても刺激的で充実した日々を過ごさせていただきました。また、新しいことへの挑戦の機会もたくさんいただき、地方自治体の職員として学びを深め、成長することができたと感じています。帰任後も、この2年間の経験やご縁を大切に、引き続き頑張りたいと思います。

最後になりましたが、2年間お世話になりました振興協会のみなさま、研修や研究会等で関わったすべてのみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



はまだ けんた
濱田 健太 (高石市へ帰任)

マッセOSAKAでの2年間、研修・研究の企画運営を通して講師の方や参加者の皆さまと交流する機会をいただきました。マッセOSAKAだからこそできる経験を沢山させていただき、刺激的で楽しい日々でした。

また、外部のセミナーや研修に多数参加させていただき、今まで触れたことのない知識を学べただけでなく、初めて訪れるまちをたくさん歩いたこともいい思い出です。

帰任後は人事課に配属となりましたので、2年間で培った経験やご縁を存分に活かし、精一杯、業務に励んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、サポートいただいた振興協会の皆さま、研修や研究会で関わった全ての皆さまに心から感謝します。私にとって、全てが大切な思い出です。本当にありがとうございました。



やまだ はるか
山田 春花 (豊中市へ帰任)

マッセOSAKAでの派遣期間中、皆さまには大変お世話になりました。

初めての異動で派遣となり、業務内容・勤務環境ともに一新してのスタートとなりましたが、充実した設備と皆さまの温かいサポートのもと伸び伸びと勤務させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

研修や各種セミナーの企画・運営に加えて、外部機関を含めた幅広い研修の受講により、行政に関する見識を深めることができました。そして研究会では、本当に様々な経験をさせていただきました。職場は違えど、同じ課題に向き合う方々と前向きに議論できたことは大きな励みになりました。マッセOSAKAで得た経験やご縁は、間違いなく私の今後のキャリアの糧となります。帰任後は人事課の研修担当となりましたので、これまで学んだことを存分に活かしていく所存です。

振興協会の皆さまをはじめ、研修・研究等で関わった多くの方々に支えられ、無事走り切ることができました。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新任派遣職員紹介

令和8年4月からマッセOSAKA の仲間に加わった職員を紹介します。



くちもと みう
口元 美羽 (岸和田市から派遣)

この度、岸和田市から派遣で参りました口元と申します。

令和3年度に岸和田市に入庁し、5年間、国民健康保険の給付業務に携わっておりました。今回が初めての異動で、勤務場所も変わり、市役所とは違う環境に少し緊張していますが、新たなことにチャレンジできることを楽しみにしています。研修の企画・運営というこれまでに経験したことのない業務に携わる中で、多くのことを学び、吸収しながら成長していきたいと思っております。不慣れな点多いかと思いますが、積極的に取り組み、精一杯頑張りますので、2年間どうぞよろしくお願いいたします。



みなくち かりん
水口 加琳 (四條畷市から派遣)

この度、四條畷市から派遣で参りました水口と申します。

私は令和4年度に入庁し、施設再編課で2年、財政課で2年、管財業務等に携わってまいりました。今回、市役所を離れマッセOSAKAでの新たなスタートに緊張と不安もありますが、自分自身の成長に繋がる貴重な機会を頂きましたので、より多くのことを経験し、業務に貢献できるよう精一杯頑張ります。また、マッセOSAKAで学んだことを派遣元に持ち帰ることができるよう励んでまいります。

これから沢山の方々と研修や研究を通して、繋がりを持てることを楽しみにしています。不慣れなことも多くご迷惑をおかけしてしまうことも多々あるかと存じますが、一生懸命業務に取り組んでまいりますので、2年間どうぞよろしくお願いいたします。



あおやま さき
青山 沙紀 (豊中市から派遣)

この度、豊中市から派遣で参りました青山と申します。

令和5年度に豊中市役所へ入庁し、今年で4年目となります。豊中市ではデジタル戦略課に在籍し、住民情報系端末の維持管理や国民健康保険等の保険システムの安定運用について主に担当していました。

自治体向けのさまざまなテーマに関する研修や研究を行っているマッセOSAKAの業務に携わる機会をいただき、大変嬉しく思っています。多くのことを学ばせていただくとともに、職員の皆さまの業務負担の軽減や、研修を通じた住民サービスの向上に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

限られた期間ではございますが、有意義なものとなるよう精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新・羅針盤

目まぐるしく変化する時代の中で、地方行政、自治体職員が目指すべき方向性について、学識者・行政経験者などの著名人に、政策提言を頂きます。

New Compass

第44回

●近畿大学大学院実学社会起業イノベーション学位プログラム

黒田 哲夫氏



地域における持続可能な子育て支援活動

1 行政制度と支援

日本は2008年以降、本格的な人口減少フェーズに突入した。このような背景のもと、国は積極的に少子化対策に取り組み、そして、住民と直接向き合う自治体も子育て施策を強化してきた。しかし、補助金、無償化などの子育て支援サービスを増やすだけでは、子育て世帯の不安や孤立は解消しない。大阪などの都市部では、住民どうしの関係が希薄になる傾向にあり、親子が地域から孤立する、いわゆる「孤育て」となる状況がみられる。自治体が制度を整備しても、行政情報やサービスが必要な人に十分に届かない現状がある。

この課題に対し先進的な取り組みを行う自治体がある。明石市は、高校卒業までのこども医療費と第2子以降の保育料が無料。0歳児見守り訪問「おむつ定期便（無料）」は、訪問時に困りごとや相談を聞くことで保護者と市の連携をすすめる。2025年の子育て支援事業計画のニーズ調査では、「子育てしやすいまちだと思う」は93.1%であり、制度が認知に至り効果をあげている。箕面市では「子育て・教育世界一」を掲げ、高校卒業年齢までの医療費助成、一時保育や病児保育、自由に遊べるキッズコーナーと子育て支援センターを設置している。2023年度の市民意識調査では、「子育てしやすいまちと思っている市民」の割合は59.7%であった。豊中市は、「子育てしやすいNO.1へ」を掲げ、全校区へのマイ子育てひろば、公共施設へのこどもスペース設置、子どもの居場所拡大など、今後5年間で約100億円規模の投資を行う。2023年度の市民意識調査では、「子育てしやすい」と答えた割合は46.7%であった。次に全国的に有名な事例である、人口約4,000人の新潟県出雲崎町では町長主導のもと、多世代交流館「きらり」を整備し、0歳から18歳までを切れ目なく支える体制を取っている。町の計画や広報でも、子育て親子の交流や相談の場を厚くする方針と、子育て世帯の満足度向上が明記され、多くの子育て世帯が転入してきている。

先進自治体に共通するのは、行政サービス、施設の充実だけでなく、親子が日常的に立ち寄れる場とコミュニケーションを重視している点にある。子育て支援を持続可能にするには、制度の充実はもちろんのこと、地域住民とともにこれを支え、受け止める場の存在が重要なのである。

2 場とつながりが支える

この課題において、学術的な知見は示唆に富む。クリネンバーグは、図書館や公園のような共有の場を社会的インフラとして捉えた。人は、制度があるからつながるのではなく、集まり、少し居続けられる場所があるから関係が育つと述べる。パットナムは、信頼、互酬性、ネットワークが地域を支える力になると述べた。グラノヴェッターは、家族や親友

ではない、ゆるいつながり（弱い紐帯）が情報や支援を運ぶことを示した。これら子育て支援の現場に引き寄せて接続すると、本当に必要なのは、親子が気兼ねなく立ち寄れて、顔見知りが増え、困った時に行政へつなげる関係性である。

制度の充実はもちろん大切である。しかし、それが暮らしのなかで機能するには、場と関係性の両方が必要なのである。

3 事例1 キッズルーム・プロジェクト

私は、八尾市において2つの子育て支援事業にかかわった。もちろん、市としての子育て支援事業は充実していたが、日々、市民と接するなかで何が不足するのかを研究した。1つ目は、キッズルーム・プロジェクトである。これは、子育て支援施設の空白地（図1）に、親子が気兼ねなく集まれる場を常設しようとした出張所職員の取り組みである。予算は0円。利用頻度が低いコミュニティセンター（以下、コミセン）の保育室などをキッズルームに改造し、場をつくった。常設の大型・小型の遊具やおもちゃ、フロアマット、こたつ、照明などは、地域住民などからの寄付で集めた。

このプロジェクトは、2023年11月から走りながら始めた実践である。段階的に整備と支援拡充を進め、79日間で延べ974人、1日平均12人が利用した。当初、支援団体は市立図書館、個人ボランティアの2団体だけだったが、2024年5月末には子育て支援団体、コミュニティナース、個人など9団体に増加した。現在も増え続けている。

行政施設のコミセンを、条例の範囲で親子が日常的に使える場所へ変えていった点に、この実践の意味があり、場の確保だけで終わらなかった点も重要である。アンケートや聞き取り、GoogleフォームやSNSで利用者の声を集め、要望をできるものから即時改善した。キッズルーム、キッズコーナーは年末年始を除く9時から21時の間、利用可能である。常駐する職員はいないが、併設する図書館職員が常時通行し、施設の守衛が30分に1回は見回り、安全を担保する。市職員は出張所業務の傍ら、SNSのアップや季節イベントごとの装飾、支援したい団体や個人の受付などを行うだけである。

開設当初、利用者は図書館に寄るついでにキッズルームを利用していた。最近ではキッズルームを目的に利用者が集まり、利用時間帯もニーズに応じて分散する。面積は約80㎡から130㎡へ広がり、冷暖房完備の屋根のある公園として地域に認知され活用されている（図2）。場の使い方を利用者目線に合わせたことで、滞在しやすさを大きく変えたのである。この事例は、拠点を増やすだけでなく、関わる人を増やす協働が大切であることを示唆する。開いている時間、入りやすさ、少し居ても気まずくない雰囲気、利用者の声で運営を直せる柔軟さが揃い、初めて場は活性化する。

各自治体が進める拠点整備も、こうした視点と結びついた時に力を発揮するのではないかと。キッズルーム・プロジェクトは、行政施設を社会的インフラへ育てる過程を、現場から示した事例である。

図1 八尾市立山本コミセン周辺と子育て支援施設の周半径0.66km（徒歩10分）圏内の円



著者作成

4 事例2 ヘッジホッグクラブ

もう一つの事例が、地域住民主導のヘッジホッグクラブである。これは八尾市南山本地区の有志が、子どもと養育者が気軽に集い、交流し、相談できる場として、2022年10月9日に始めた定期開催の子育て応援事

図2 キッズルーム・キッズコーナー 活動の様子



著者作成：読み聞かせ、絵本のイベント、工作、マジックなどのイベントも開催される。

業である。毎月第2日曜日の午前に校区集会所と小学校グラウンドで開き、参加費は無料であり、現在も継続している。民生委員児童委員、自治会長、PTA会長、一般住民、小学生ボランティアらが始めた。

初回の参加者は44人で、その後は平均して毎回50人以上が参加する活動へと育った。口コミで地区外の親子にも広がり、場合により行政の子育て支援と連携する。活動後には反省会を重ね、内容をその都度見直してきた。行政が施設や制度で支え、住民が運営を担う形が、無理なく組み合わせられている。この活動の源には、孤立する親子の存在と行政支援が子どもの年齢で担当課が変わり、安定した関係をつくれなことが、更なる孤立を生むことへの住民の危機感があった。

南山本地区では、まちづくり計画策定に向けたワークショップが開催されていた。その対話を通じて、高齢の役員も、今の子育て世代が置かれている現状を知ることになった。地域で子育て支援に取り組むことへの納得と理解が地域内で共有され、活動の土台ができたのである。

こうした対話の土壌が、住民共通の目標となり、多様な住民を結びつけ、活動継続の鍵になったのである。ここで作用したのは強い結びつきだけではない。民生委員、保育士、保健師、ボランティア、時々参加する親子という、ゆるいつながりが支援の敷居を下けている。ヘッジホッグクラブは、弱い紐帯が社会関係資本へ育っていく過程を、地域の実践として示した事例である。

5 大阪府内自治体への示唆

大阪府内自治体への示唆は、第1に、親子が歩いて行ける範囲に行政施設のみならず日常的に使える場を持つこと。第2に、その場に自治体の専門職と地域住民、そして子育て世代の当事者が少しづつ関わり、相談と交流のしやすい入口を複数置くこと。第3に、行政が制度、予算、施設を最低限整え、地域住民、子育て世代の当事者と対話を通じて運営を育てること。この3点である。

子育て支援を持続可能にすることは、立派で総花的な言葉を並べ、予算をかけることのみではない。手間はかかるが、親子が身近で集まり、少し話せて、困った時に行政へつながる状態、つまり声を聴き、子育て世帯に寄り添い「安心」を地道につくり続けることが大切なのである。その場が続けば、弱い紐帯は社会関係資本へと育ち、地域の支える力、自治が少しずつ涵養されていくのである。

本稿により、孤育てに悩む親子や自治体職員の一助になることを切に願う。

図2 ヘッジホッグクラブの活動の様子



著者作成

研究 関連

○マッセOSAKA受賞論文

- 2026年2月優秀論文賞、自治体間転職の規定要因と組織的課題の考察、おおさか市町村職員研究研修センター マッセOSAKA
- 2020年2月優秀論文賞、地方公共団体間の公共下水道事業における広域化・共同化による効率性の評価について、おおさか市町村職員研究研修センター マッセOSAKA

○マッセOSAKA・研究会

- 2023年3月 働き方を「選択」できる仕組みづくりを考える研究会 成果報告書おおさか市町村職員研究研修センター マッセOSAKA

○子育て支援に関する論文・発表

- ①2025年12月 地域における子育て支援活動の継続性とその要因に関する一考察地域活性学会研究誌 vol.23 (査読付き)
- ②2025年3月優秀論文賞、地域住民主導による子育て応援活動に関する考察、おおさか市町村職員研究研修センター マッセOSAKA
- ③2025年2月24日 五島市第2回まちづくりリフェス基調講演「孤立した「孤・育てを地域の子育てに」
- ④2024年10月 地域住民主導の子育て支援の社会的意義に関する考察地域活性学会研究誌vol.21 (査読付き)
- ⑤2019年2月優秀賞、管理職の父親の育児休暇、おおさか市町村職員研究研修センター

八尾市職員として

- 1994年4月～2026年3月
- 1994年4月～2020年3月 土木職として下水道経営・計画・設計・工事、道路・河川の計画行政に携わる
- 2020年4月～2026年3月 人権ふれあい部にて高安小中学校評議員、南山本及び高安西小学校校区まちづくり支援に従事→子育て支援に関する研究と社会実装はこの時期

シリーズ **第206回**
バトンタッチ

研修担当課の皆さんが、次々に仲間を紹介し、ネットワークを広げます。
 今回は、岬町の寺井さんからのご紹介で…



忠岡町 秘書人事課 **竹内 聖治さん**
 ◆人材育成に向けて、日々奮闘中です！

今回、岬町の寺井さんからバトンを受け取りました、忠岡町秘書人事課の竹内と申します。現在係長3年目として、担当する人事・町長秘書の業務の運営に、きめ細やかなケアができるように努めています。

人材の獲得が年々困難になるなか、将来を担う職員の確保、定着及び育成を一貫した方針に基づいて体系的に整えるために、日々の業務に追われながらも未来に想いを巡らせる日々を送っています。

また、研修を考えるにあたり、学びは学ぶ側の意識が何より大切だと考え、様々な状況にある職員がいるなか、少しでも前向きに取り組んでもらえる形や環境を作っていくため、本町では、日々の仕事やキャリアと結び付いた学習となるよう、研修の組み立てに臨んでいます。

最後になりますが、マッセOSAKAの皆様には、職員の職務の向上に向けた研鑽のため、いつもお世話になりまして、感謝申し上げます。

次回は田尻町の見學さんにバトンを渡します。見學さん、よろしく願います。

次回は、**【田尻町の見學さん】** にバトンタッチ！



広域研究活動支援事業
自主研究グループ募集中!!

当センターでは、広域的な政策課題に関する調査・研究活動に取り組んでいる自主研究グループへの支援を行っています。詳細は、各市町村職員研修担当課までお問い合わせください。

なお、今年度の申請期限は6月30日(火)となっております。

主な支援の内容は以下のとおりです。

- 活動に要する経費の一部負担
- 活動場所の提供
- 研究成果の公表支援 etc...

第125回マッセ・セミナー
「善意とやる気が『疲弊』に変わるとき」

行政の現場では「いい人」「頑張り屋」と評価される職員ほど、善意や責任から業務を優先し、自身の疲れやストレスを後回しにしてしまう傾向があります。自身の心身の健康を守るとともに、職員が無理なく力を発揮できる業務環境を整えるための重要性を学ぶことを目的に開催いたします。

日 時：令和8年6月17日(水)
 14：00～16：00
 場 所：マッセOSAKA 大ホール
 申込締切：令和8年6月12日(金)

令和8年度研修情報見本市のお知らせ

「研修情報見本市」は、タイムリーな研修企画や講師発掘の参考となる情報提供の機会として、人事・研修ご担当者の方は必見です！
 詳細は、7月中にご案内予定です。

開催日程	令和8年8月28日(金)
概 要	選りすぐりの研修専門事業者のトレンドや「推し」、の研修企画のプレゼンや講師本人による模擬研修を受けることができます。
場 所	マッセOSAKA大ホール 第2研修室

クールビズ実施中！研修受講は軽装で！

10月末日までクールビズに取り組んでいます。期間中に当センターが主催する研修は、NOネクタイ・NO上着など公務に適切な範囲の軽装で受講していただくことが可能です。